

みわ分校だより

福知山高等学校三和分校

令和4年12月27日

第11号



<http://www.kyoto-be.ne.jp/miwa-fukuchiyama-hs> (HPで学校の様子をぜひ御覧ください。)

母校の小学校へ野菜を届ける

1学期から、農業科で収穫した野菜を綾部市立中筋小学校の「給食」と「食育」に活用していただいています。

12月7日(水)、農業科1年 渋沢進一朗さんが小学校を訪問し、農業科で栽培したダイコンを渡しました。中筋小学校は渋沢さんの母校です。



挨拶の様子



児童に囲まれる様子

小学校との連携がさらに進みました。

始めに、一列に並んだ3年生の児童の前で挨拶しました。その後、周囲に児童が集まり、かごに入ったダイコンを手に取り「大きい」「重い」とはしゃぐ様子がありました。

(渋沢さんの感想)こんなに野菜が役に立っているとは知らなかったです。美味しく食べてほしいです。

高齢者福祉施設訪問



交流の様子

12月20日(火)、家庭クラブ役員の生徒が、三和町高齢者生活福祉センターを訪問し、利用者の方々とレクリエーションの交流をしました。

4年生の「生活と福祉」の授業で計画してきた、昔懐かしい童謡を歌ったり、クリスマスや正月の歌とともに簡単な振りを行ったりしました。最初は緊張していましたが、利用者の方々の温かさが高校生に伝わり、お互いに笑顔で交流ができました。

最後に、代表生徒から「寒さが厳しくなってきたので、お体には気を付けて元気にお過ごしください」と声をかけました。



楽しい時間が終わり、拍手の中、退場しました。

12月16日(金)、家政科の取組で、生徒一人ひとりが感謝の気持ちと裁縫の上達を願う「針供養」を行いました。

針供養

午前中に、授業で使っていた折れたり曲がったりした針を、針塚に向かって感謝のお祈りをして、こんにやくに刺しました。その後、家庭クラブの役員がこんにやくを持って針塚へ。



針塚に向かって



針塚の前で

針塚の前で、代表生徒から供養の由来の説明をし、丁寧に納めました。

この取組は開校当時から続けられている伝統行事です。

(感想から)手縫いが苦手なので、これから得意になれるようお祈りしました。

寄せ植え制作

毎年、年末が近づくと、農業科の全生徒が寄せ植えの制作に取り組んでいます。これは農業科の取組を広く知ってもらうこと、季節行事の理解を深めることを目的にしています。

今年度は、12月12日(火)と14日(木)、2つの学年に分かれて制作を行いました。初めは、全体のバランスを考えながら、長方形の鉢に松竹梅やナンテン等の縁起物の草花、溶岩石を配置しました。



作業の様子

次にコケを張り、縁起物の鶴をあしらって完成させました。

この後、寄せ植えは販売されます。両日とも寒さの厳しい日でしたが、地域の方に喜んでもらうと、どの生徒も真剣に取り組んでいました。



完成した寄せ植え